

## 紅葉と秋風が漂う古刹の里へようこそ!!

川上校区は、古代から近世に至る数々の史跡類に囲まれ、訪れる人に歴史のロマンを感じさせると共に、川上（嘉瀬）川の清流や筑紫山麓から見下ろす雲仙岳や有明海、佐賀平野の風景は、多くの来訪者に感動や癒しを与えるに十分な眺望であります。加えて、自然や環境にも恵まれ、四季折々の多様な農産物や咲き乱れる花は、来訪者に魅力的に映っています。

### 万寿寺について

仁治元年（1240）神子和尚が開山した寺で、四條天皇から「水上山興聖万寿寺」という寺名をもらったといわれる臨済宗の寺です。本尊は神子和尚作と伝えられる不動明王です。

「鎮西要略」「開山行業記」の中に「大治五年（1130）水上山に善住という異僧がいました。天台宗の僧で、ここで不動の法を修すること多年、天がその仏心に感応してその年の五月二十八日丑の刻（午前二時）に空翔を下されました。天皇のお言葉によって一旦宮中に収められましたが、瑞相がしばしば起るので再び水上山に返された」とあります。この空翔といわれるものは現在寺宝として保管されています。

9世是琢和尚は鍋島直茂公の御側役として文禄の役の時朝鮮に渡り、彼の地より画幅を持ち帰ったものが残っています。梁の武帝離宮の図や蓮龍の図、特に十六羅漢の仏画は明国仇英の画風を伝える貴重な物です。旧藩時代は鍋島家の祈願所となっていました。

### 現地・駐車場のご案内

佐賀大和インターの北に惣座という信号のある交差点があります。それを西に曲がり橋を渡ると、その橋の下に駐車場があります。

医大方面からお越しの方は高速道路の高架をくぐり、コンビニを過ぎた先の三叉路を右に曲がってください。

直近に看板を立てていますので誘導に従って橋の下にクルマをお停めください。

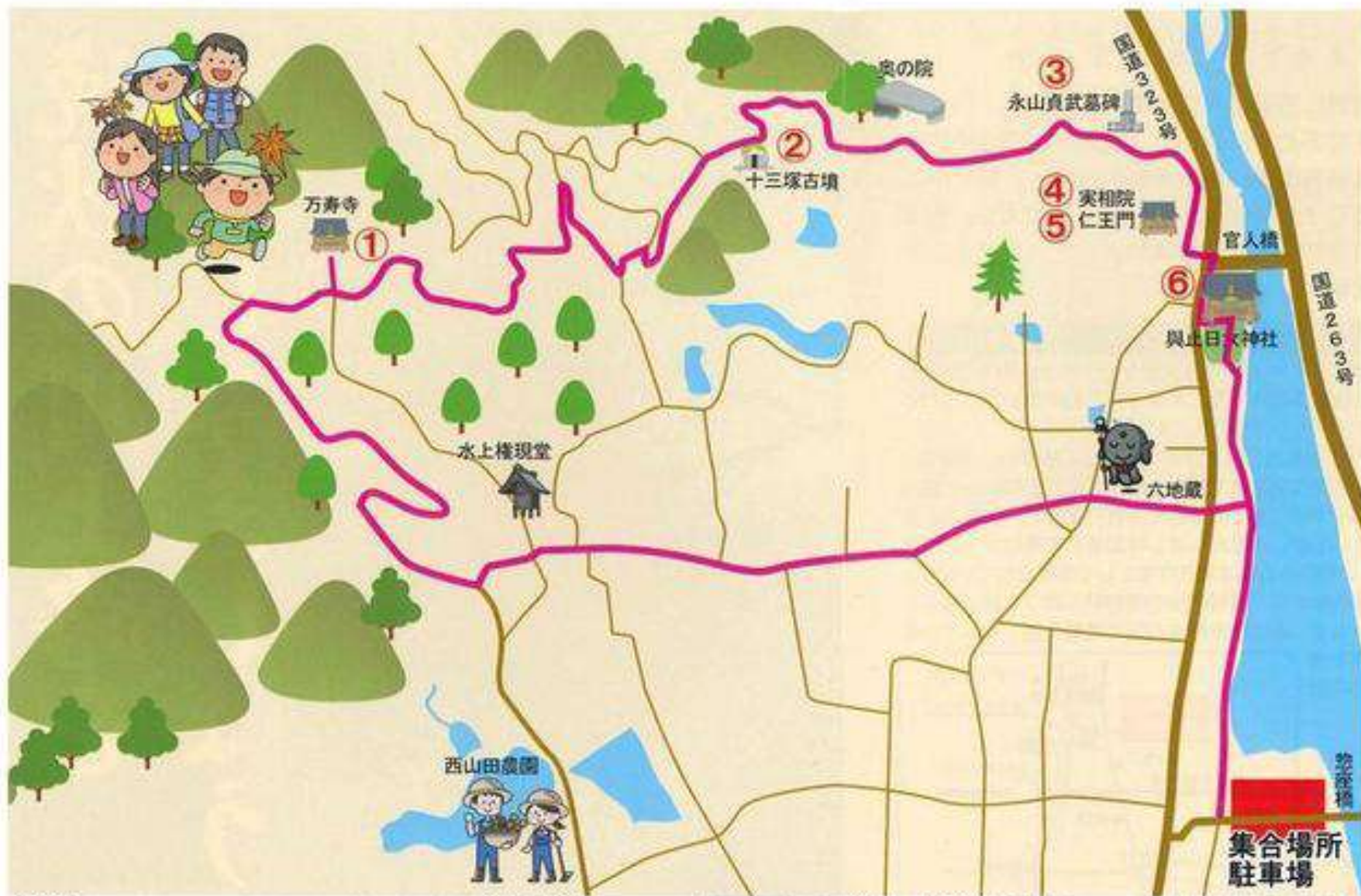


ゆっつら〜と川上  
お散歩マツプ

晩秋の川上路を  
楽しみましよう

川上校区まちづくり協議会

お問い合わせは  
川上校区公民館 TEL 0952-62-5775



#### ①万寿寺

ご本尊は、不動明王。平安時代の大治5（1130）年建立、竜造寺家兼（隆信の父）の弟も住職を務め、竜造寺家や鍋島家の祈願寺でもあった。秋の紅葉は見事。パワースポットとしても知られている。



#### ②十三塚古墳

古墳時代中期（6世紀）の古墳で、横穴式円墳、石棺や中国製の鏡が発見されている。川上校区には230基の古墳があり、平野部で稲作に携わりながら、墓地を山ろく部に築いたと思われる。



#### ③永山貞武墓碑

川上出身で、幼少期から文武両道に秀で、直正公のお側頭として、藩政改革に敏腕を揮い、幕末佐賀藩活躍の基礎を作った。44歳で亡くなり、直正公もその死を大変惜しんだと言われている。



#### ④実相院

真言宗御室派、本尊は薬師如来。神仏混交の時代で、当初は神通寺が與止日女神社の座主（当主）を務めていたが、室町中期以降、子院であった実相院が座主となった。



#### ⑤仁王門

3代将軍・家光の41歳の厄払いのために正保元（1644）年建立され、仁王像は、京都の仏師が作り安置されたものと云われている。「山門類」は、後醍醐天皇の王子（寛深大王）の御宸筆とされている。



#### ⑥與止日女神社

祭神は、與止日女命。嘉瀬川が佐賀平野に流れ出る農業用水の源を抑える位置に鎮座し、朝廷の尊崇も厚く平安時代以降、広大な免田を持ち、「肥前一の宮」として、庶民の厚い信仰の対象でもあった。

